

No. 1134

両陛下ご訪米の旅

— 第 一 報 —

9月30日、小春日和りの中を、天皇 皇后 両陛下は15日間にわたるアメリカ合衆国訪問の旅に出発されました。

天皇がアメリカを訪問されるのは、日米国交史上はじめてであり、このたびの訪問は、昨年11月、来日したフォード大統領の招待に応じたものです。戦後30年を経て実現したこのアメリカ訪問は、陛下ご自身も長年希望されていました。羽田空港では皇太子ご夫妻や三木総理大臣らが両陛下をお見送りしました。在位50年、「最も幸福な経験」として陛下が4年前のヨーロッパご訪問とともにあげられたアメリカへの旅。

両陛下をのせた日航特別機は、バージニア州パトリックヘンリー空港に到着。天皇 皇后 両陛下はゆっくりと一步一步確かめるようにタラップを下りられました。

両陛下は植民地時代の兵士の正装をした地元の人々の儀仗隊にむかえられ、宿願のアメリカご訪問の第一歩を踏み出されました。10月1日、両陛下は、歴史の町、ウィリアムズバーグを馬車でご見学。秋のこもれ日を背に建国時代そのままの家並みをゆっくりとごらんになりました。

古都バージニア州ウィリアムズバーグでアメリカご訪問の第一歩をしるされた両陛下は、宿舎の近くにある、ロックフェラーの別荘バゼットホールを散策され、長旅の疲れをいやされました。

松、杉、カエデなどがうっそうと茂った緑の接待にすっかり満足された様子でした。

10月2日、両陛下は首都ワシントンを訪ねられホワイトハウスで、フォード大統領とお会いになり、歓迎式典に臨まれました。天皇陛下は大統領といっしょに儀仗隊を閲兵されたのち、大統領の歓迎の言葉にこたえ、「不幸な一時期の試練に耐え、今日ゆるぎない友好親善のきずなを築きあげております」と感慨をこめて述べられました。

両陛下はホワイトハウスで、大統領夫妻とともに晩さん会に先だち、招待客のあいさつを受けられ、にこやかにこたえになっていました。10月3日、天皇陛下は、アーリントン墓地の、無名戦士の墓へもうでられ、花輪をささげられました。

献花のあと、過去三つの戦争に散ったアメリカ兵士の霊をなぐさめられた天皇陛下は、ヤークス少将の案内で墓の後に廻られ墓の説明にうなずかれていました。そして平和の確かさを深くかみしめて、アーリントン墓地を後にされました。

アメリカでの重い課題に一区切りをつけられた天皇陛下は初代大統領ワシントンの私邸のあるバージニア州マウントバーノンへの舟旅を楽しまれました。

両陛下をのせた大統領専用船セコイア号は静かなポトマック川を下り、一路マウントバーノンへ。

天皇皇后両陛下は、お元気な姿でアメリカご訪問の旅を続けられています。